

期日 J 3 6 /
 期日 1・3・5・10・永

様式第5号 (第5条関係)

議長 事務局長 事務局員
 矢巾町議会 藤原 由巳 様

令和4年4月15日



会派名 日本共産党
 代表者名 小川文子

令和3年度政務活動費収支報告書

矢巾町議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項(第2項)の規定により、次のとおり令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入
 政務活動費 240,000 円

2 支出

項目	金額(円)	主たる支出の内容
調査研究費		
研修費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費	69,828	印刷費, 折込費
事務費		
合計	69,828	

3 残額
 170,172 円

備考 政務活動費支出明細書、調査研究等実施報告書、領収書等の写しを添付すること。

領 収 証

日本共産党(矢巾町議員団会報)
小川文子・小川村よし子 様

No. 17

★ 11264
但 新聞折込代金

2022年 2月 25日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

取 入
印 紙

印紙 2ケ 1097

岩手日報矢巾センター
所長 大坂 一 満
〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町又兵衛新田4-306
TEL 019-613-5540
FAX 019-613-5543

④ 領 収 書

No. 051221

受付日 2022 年 2 月 25 日

日本共産党
(矢巾町議員団) 小川文子 殿

有限会社 アースビジョン
紫波郡紫波町 結字町 214 番地 1
☎ (019) 672-3521

折込日 3月 1日(月)

摘 要	枚 数	単 価	金 額	折 込 区 域
新聞折込広告料	2,800	5.3	14,840	紫波地区 日古志赤彦長 詰館和石部岡 矢巾地区
消 費 税		10%	1,484	徳 矢 流 田 領 収 通
合 計			¥16,324	
折込広告持参者 御本人		様	備考	4 2.25 アースビジョン

上記の通り領収致しました

年 月 日

扱
者

領収証

日本共産党(矢巾町議員団会報)
小川文子・川村礼子様

No. _____

★ ¥3,740

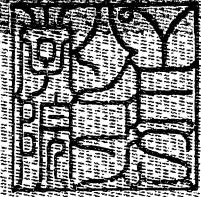
但 振込料代として

2022年2月16日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

収入
印紙

コクヨ ウケ-1007



領収書

日付 2022年03月16日
番号

日本共産党矢巾町議員団 川村様小川文子 様

金額 ¥38,500-

内消費税 ¥3,500-

10%対象 38,500 内消費税 (3,500

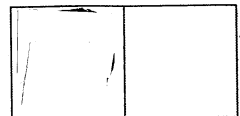
但 印刷代として

現金
小切手
お振込
その他

上記の通りに領収いたしました。

収入
印紙

有限会社 **イブイ**
代表取締役 細矢 足雄
028-3621
岩手県紫波郡 019-513-19
TEL:019-681-8121 FAX:019-681-8120



日本共産党矢巾町議員団会派報告

小川 文子・川村よし子

発行日: 2022年(令和4年)2月15日
連絡先: 矢巾町大字南矢幅 16-30-13
発行責任者: 小川 文子

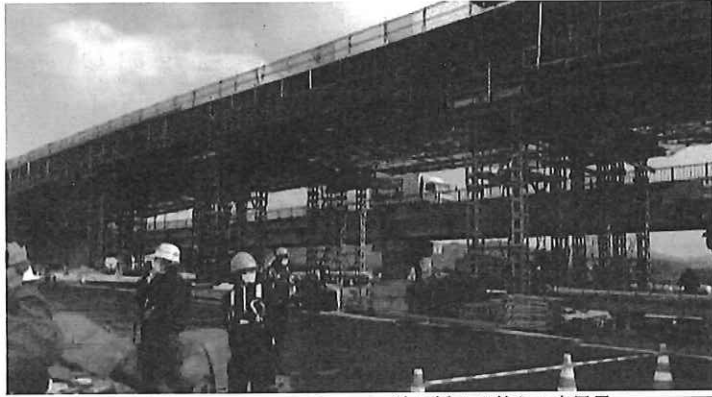


小川 文子
☎・Fax
697-6652
090-5231-6298



川村よし子
☎・Fax
697-5651
090-3757-2755

新しい年を迎え気持ちを新たに、誰もが安心して暮らせる矢巾町の実現のために頑張ります。
まずは、コロナ対策を優先し、引き続き町政課題・平和課題で頑張ります。
12月・1月議会で取り組んだ内容を中心に会派報告をいたします。



徳田橋かけ替え工事風景

コロナ感染症対策は 3回目ワクチン接種・PCR検査・経済対策を

① 感染症予防対策

3回目のワクチン接種の早期実施と介護施設や学校保育施設等での定期的な抗原検査を求めました。

答弁では、ワクチンは紫波郡医師会と連携して迅速に対応し、抗原検査は2週間に1回程度実施しており、今後も継続するという事でした。

町民へのPCR検査を要望したところ検討するという答弁でしたが、1月から県の事業として実施が決まりました。

矢巾町内の薬王堂薬局3店舗他は、感染が不安な方を対象に県事業の無料検査を実施しています。

② 経済支援対策・臨時特別給付金

* 町民対象

一世帯10万円。住民税非課税世帯は、申請が不必要です。課税世帯でも、コロナ禍による家計急変世帯であることが申請書類で証明できれば対象になります。

* 事業所対象

1	家賃給付金	事業にかかわる土地・建物の賃料等に給付。令和3年8月～令和4年1月までのいずれかの月の売り上げが、前々年同月と比較して30%以上減少している方要申請です。
2	事業継続支援金	売り上げが減少している事業者へ一律10万円支給。申請条件は同上
3	事業復活支援金	固定費負担の支援金。上限は個人50万円・法人250万円。令和3年11月～令和4年3月のいずれかの月の売上が50%以上または、30～50%減少した個人事業者の支援。申請開始しています。

③ 処遇改善支援事業

保育士や幼稚園教諭・児童館職員・左記施設関係の会計年度任用職員等の令和4年2月～9月までの給料の3%程度(月額平均9,000円)の処遇改善が決まりました。

旧矢巾中学校跡地は多目的公園に

町は跡地を住宅用地として売却し、社会教育施設建設のための基金として積み立てる計画を示しました。

しかし、町内には大きな公園がなくサッカーやテニスなど気軽に運動できる公園や憩いの広場が求められてきました。

まちなかにあることで、車がなくても子どもから高齢者まで気軽に利用でき、災害時の避難場所にもなります。

住宅用地は、不來方高校南側と医大病院東側の藤沢地区に宅地用地として開発が進んでおり、これ以上必要ないのではないのでしょうか。

今後、住民意見を良く聴く町民説明会を求めています。

中学生女子制服にスラックス選択制を

冬期間の健康やジェンダー平等の立場から中学生女子制服にスラックス選択制を求めました。

答弁は、矢巾中学校は既に実施しており、矢巾北中学校でも要望があれば生徒や関係者と協議しながら検討していくということでした。

県内の高校でも、生徒自身の取り組みで女子制服にスラックス選択制導入が始まっています。

*ジェンダー平等とは、性別に関係なく安心して暮らせる社会の実現のこと。



スクールバス、中学生にも拡充を

小学校で実施されている冬季間のスクールバスを、中学生にも導入することを求めました。南昌台地域や土橋地域をはじめとした遠距離通学生徒の父母からの要望があったことから当面中学1年生から導入することを質問しました。

答弁は、スクールバスはレンタルで、運転手は町職員が対応しているため、距離・対象者など広範囲に及ぶことから中学生は難しいということでした。

今後も、小中学生の要望を聴き拡充を求めています。

小中学校のトイレに生理用品常備を

コロナ禍で生活が苦しくなり生理用品が購入できないことが社会問題化している、学校トイレに生理用品を常備することを求めました。岩手県内では久慈市や北上市はじめ学校トイレに生理用品の常備が始まっています。

答弁では、保健室に常備し必要な生徒に配布しているというものでした。また、町民に対し生理用品や紙おむつなどサニタリー用品の寄付を募っており、7件の寄付があったというものでした。

生理用品はジェンダー平等の考えからトイレットペーパーと同様に、トイレに常備すべき物と考えることから、今後も様々な方法を求めています。

加齢難聴者へ 補聴器購入助成を

高齢者の補聴器購入助成の要求が高まっています。収入が少ない高齢者は、難聴になっても、補聴器購入をあきらめていることから、公的助成を求めました。

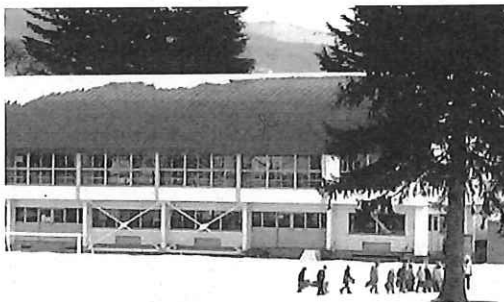
答弁は、難聴の身体障害者手帳を持っている方には助成があるが、軽度難聴者や介護保険制度には助成制度がないフレイル予防からも、国に要望している、町独自支援は考えていないというものでした。

1人ひとりの難聴レベルにより補聴器購入助成や集団補聴施設設備である磁気ループ(ヒアリンググループ)の町施設設置を要望しました。

学校給食共同調理場 民間委託へ

共同調理場の調理、配送、洗浄部分が、4月から民間委託となります。公募型プロポーザルで(株)東洋食品(東京都台東区)の業者に選定されました。委託期間は、令和4年4月から令和7年3月31日まで3年間。委託予定金額は、2億296万円となります。

パート職員27名は解雇となりますが、委託業者に優先的に採用の予定です。町の正規職員は、町の他の部署に配置となります。



徳田小学校体育授業風景

本町の給食は、自校方式から共同調理場方式となり、民間委託と形態が変わります。自校方式の良さを経験してきた者として大変残念です。今後子供たちに喜ばれる学校給食となり、職員が働きやすい労働環境となるよう注視していきます。

矢巾斎苑 黒煙解消される

周辺の住民は、黒煙の発生により、洗濯物を外に干せない状況でしたので、議会で取



南矢幅7区地内にある矢巾斎苑

り上げ、その後総務常任委員会にて視察を行いました。

黒煙は、機械メーカーとのやり取りの中で、施設の老朽化等の原因ではなく、機械運転上の問題であることが明らかになり解消されました。

また、当施設は耐震性の問題はなく、今後も利用可能であることの説明を受けました。



西徳田地域にある盛岡・紫波環境施設組合

盛岡市は3ヶ所で住民説明会を行っています。場所の設定が盛岡市前湯地域のインター付近になった理由と施設建設費用や維持にかかる費用など住民負担になるのではないかと質問しました。答弁では、4か所の候補地があつたが効率性と地域の条件等を考慮して決定された。今後の住民負担については、協議会設立決定後に話し合われることになる、計画は2年遅れているというものでした。

県央ごみ処理場建設 見直しを

8市町(盛岡市・八幡平市・滝沢市・雫石町・岩手町・葛巻町・紫波町・矢巾町)のごみを一か所に集め処理する施設で、その建設計画が広域で進められています。

盛岡市は3ヶ所で住民説明会を行っています。



太田地域からの東根山

福祉灯油給付事業 早期申請を

コロナ禍と灯油高騰の中で生活が脅かされています。町は、県から一世帯2,500円の補助を受け非課税世帯に福祉灯油の実施を決めました。

平泉町	15,000円
九戸村	12,000円
普代村・軽米町 ・野田村・岩泉町	10,000円
宮古市・一戸町	6,000円
矢巾町・盛岡市・紫波町 他25市町	5,000円

対象世帯に申請用紙を送付していますので、期限が近いので、早期の申請が必要です。